

中東情勢の緊迫化に伴う地域の安全確保と平和的解決を求める意見書

現在、中東地域において軍事的緊張が高まり、情勢の更なる悪化が懸念されている。

中東地域は世界のエネルギー供給の要衝であり、同地域の不安定化は我が国の経済活動やエネルギー供給に大きな影響を及ぼす可能性があり、ひいては国民生活にも深刻な影響を与えることが懸念される。

また、本市には キャンプ座間が所在しており、我が国の安全保障と密接に関わる地域であることから、国際情勢の変化が地域社会に及ぼす影響についても強い関心を有するところである。

国際社会においては、緊張の拡大を回避し、対話と外交努力による平和的解決を図ることが強く求められている。

よって、本市議会は、国に対し、次の事項について適切に対応するよう強く要望する。

- 1 在外邦人の安全確保に万全を期すこと。
- 2 ホルムズ海峡をはじめとする海上交通路の安全確保及びエネルギー安定供給の確保に向け、国際社会と連携した外交努力を行うこと。
- 3 地域の緊張緩和と国際的な核不拡散体制の維持に向け、主体的な外交努力を尽くすこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月24日

内 閣 総 理 大 臣
総 務 大 臣
外 務 大 臣 殿
防 衛 大 臣
衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長

座間市議会議長 松 橋 淳 郎